

# あつぎ郷土博物館NEWS2月号

展示会  
案内

## 特別展「寿 -毛利家と共に-」③ 厚木と山口をつなぐ丸形古銅器

あつぎ郷土博物館では、「**寿** -毛利家と共に-」を3月1日まで開催中です。毛利博物館と山口県立山口博物館からお借りした約25点の資料を展示しています。多くの資料が山口県外初展示となりますので、ぜひご観覧ください。また、2月9日から一部展示替えを行います。

写真は、山口県立山口博物館蔵の『丸形古銅器』です。

「毛利季光」の銘と「宝治元



年六月五日」の日付が刻まれます。これは毛利季光が宝治合戦で戦死した日です。附属の古文書によると、長州藩が外国船防備のため、嘉永6年(1853)から相模湾警備についた際、藩士が鎌倉の古道具商から入手し、藩に献上されました。来歴や用途などに不明な点はあるものの、先祖尊信の志せんそそんしんが神妙こころざしとして、藩士に褒美ほうびが与えられ、御宝蔵に納められた毛利家の宝物。旧相模国内の地に残されていた数少ない毛利季光に関連する、つまり厚木と毛利氏とをつなぐ貴重な資料です。

鳥取大学教授・岸本覚さんは、宝暦の藩政改革において、長州藩主が藩祖との誓約の中で改革を推進するという考えから、歴代藩主の墓地修理とともに、遠祖えんその墓地発見再興と祭祀の継続が課題になったといいます。大江広元と毛利季光に関する歴史資料の探索は、文化14年(1817)、長州藩士・村田清風が、鶴岡八幡宮べっとうぼつの別当坊、相承院そうじょういん、浄国院じょうこくいんにある古文書や位牌の調査、旧蹟の発掘作業など徹底的な考証を行っています。丸形古銅器もその流れの中での収集でしょうか。

鎌倉にお越しの際は、源頼朝の墓だけでなく、近くにありますが大江広元の墓、毛利家墓所にも是非お参り下さい。

- 会 期：令和8年3月1日(日)まで
- 入館料：無 料 ●行事：裏面参照

## あつぎ郷土博物館 2月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間	
市制70周年特別展「寿-毛利家と共に-」3月1日まで					
NEW	8	日	特別展関連講座 旧毛利領国の怪談話～八雲とセツが紡いだ物語のゆくえ～<参加申込制>	小泉 凡氏 (八雲曾孫) 13:30～15:30	
NEW	11	水	特別展 展示解説「窓」	毛利博物館 13:30～30分程度	
NEW	12	木	はじめての古文書 <参加申込制>	当館学芸員 10:00～12:00	
			あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会 13:30～16:00	
	14	土	特別展 展示解説「窓」 *実施時間に注意	毛利博物館 11:00～30分程度	
	15	日	特別展 展示解説「窓」 *実施時間に注意	毛利博物館 13:30～30分程度	
NEW	19	木	はじめての古文書 <参加申込制>	当館学芸員 10:00～12:00	
NEW				あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会 13:30～16:00
	21	土	企画展関連ワークショップ 勾玉づくり<参加申込制>	当館学芸員 13:30～16:00	
	23	月	特別展「寿-毛利家と共に-」ギャラリートーク	当館学芸員 13:30～30分程度	
	24	火	休 館 日		
	26	木	はじめての古文書 <参加申込制>	当館学芸員 10:00～12:00	
				あつぎの古文書学習会 参加自由	古文書解読会 13:30～16:00
	28	土	企画展関連ワークショップ 勾玉づくり<参加申込制>	当館学芸員 13:30～16:00	

## 展示紹介

## ●市の鳥 エナガを見る

市制70周年を記念して行われた市民投票によりエナガが厚木市の鳥として選ばれました。「市の鳥」として選ばれたエナガの他、候補となったオオルリ、サンコウチョウ、ツバメ、フクロウとともに郷土博物館が所蔵する江戸時代の事典『和漢三才図会』に「恵奈加」（えなが）と記載があります。市の鳥・エナガを博物館の資料でバードウォッチング。



●あつぎ郷土博物館 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)

休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)

●古民家岸邸

開館時間 10時から15時まで(入館は14時30分まで)

休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/23～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515

Mail [8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp](mailto:8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp)

FAX 046-246-3005